

# 西大和つうしん

2019年10月号

No.448



奈良県勤労者山岳連盟

## 西大和山の会

# 西大和つうしん

第448号(2019年10月号)

## 【目次】

10月度山行計画.....	1
10・11月度山行計画.....	2
10・11月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
山行報告	
・自主山行 《8/10-14》 北アルプス 薬師岳・雲ノ平(杉森・杉村・野路・亀高).....	5
・例会山行 《8/25》 竜門山地 竜門岳(中).....	11
・自主山行 《9/1-4》 北アルプス 白馬三山(中・野路).....	12
・例会山行 《9/8》 湖南の山 三上山(佐々木).....	14
室内例会だより.....	15
教育部より.....	15

## 10月度山行計画

～会では初めてのバーベキュー山行！ 宴会です！🍷

秋のひと時楽しみましょう！！ ご参加お待ちしております～

### 例会山行1 生駒山地 《府民の森 くろんど園地》

【日程】10月13日(日) (L野路)

【集合】JR王寺駅7:30

【コース】河内磐船駅～(1h15)〔獅子寺コース〕～キャンプ場(宴会)～(1h05)〔かいがけの道〕～河内磐船駅

※ 歩行時間：約2時間20分 歩行距離：3.5 km

会費：約2,500円前後(参加者人数で割ります)

～テント泊の醍醐味を一緒に楽しみましょう～

### 例会山行2 中国山地 《蒜山高原》 1,202m

【日程】10月19日(土)～20日(日) (L杉森)

【集合】王寺駅南口6:00出発

19日(土)：王寺駅⇒(車)⇒塩釜キャンプ場10:00着(テント設営)昼食

塩釜キャンプ場12:00～(5)～塩釜登山口～(1h15)～中蒜山1123m～(1h)～塩釜登山口～(5)～塩釜キャンプ場(テント泊)

※ 歩行時間：約2時間25分

20日(日)：塩釜キャンプ場7:00⇒(車)⇒百合原登山口～(1h15)上蒜山1202m～

(40)～中蒜山～(1h)～塩釜登山口～(5)～塩釜キャンプ場11:00(テント撤収)塩釜キャンプ場13:00⇒(車)(途中入浴)⇒王寺18:00頃

※ 歩行時間：約3時間

※ キャンプ場まで車でいきますので、1日目、2日目とも、必要なものだけで登山します。

## 10月度山行計画

～福知山線廃線ウォークです。廃線になった線路跡を歩き、紅葉の季節を楽しんで頂ける手軽なハイキングコースです～

### 県連交流山行 例会山行3 《武田尾廃線ウォーク》

【日 程】10月27日(日) (L 島崎)

【集 合】JR 西宮名塩駅 10:00(現地集合)

【コース】西宮名塩駅～北山トンネル～長尾山トンネル～親水公園～武田尾駅  
親水公園上を散策します。

※ 歩行時間：約5時間 歩行距離：約10km

【解 散】JR 武田尾駅

【交 通】JR 王寺駅発着例(8:20JR 王寺駅改札口集合)

往路：王寺 8:31⇒(大和路快速)⇒9:08 大阪 9:20⇒(丹波路快速)⇒9:50 西宮名塩

復路：武田尾 15:00⇒15:08 宝塚 15:11⇒15:36 大阪 15:43⇒16:18 王寺

※ トンネル内を通りますので、ヘッドランプ又は懐中電灯を必ずご持参願います。

## 11月度山行計画

～秋の公開山行～

### 公開山行 例会山行1 奈良中部 《高取山 583.6m～明日香村》

【日 程】11月3日(日) (L 林)

【集 合】一般参加 近鉄吉野線壱阪山駅前 8:15

会 員 上牧町役場前駐車場 7:00 出発/7:50 明日香村役場駐車場

【コース】壱阪山駅前 8:30～上小島砂防公園 9:15～猿石分岐 10:20～高取城本丸跡 10:50/11:30  
(昼食)～猿石分岐 11:50～栢森北 12:50～関大研究所 13:10～案山子ロード分岐 13:30  
～高松塚古墳 14:40/15:10～近鉄飛駅 15:30/15:40 解散(神宮行 15:56)

※歩行時間：約6時間 歩行距離：約10km

※前日の午後7時 当日橿原市降水確率60%で中止となります。

参加申し込み1週間前までに島崎 隆 090-9056-7884 SMSで受付

～近畿百名山「白髭岳」へ～

### 例会山行2 台高山脈 《白髭岳》 1,378m

【日 程】11月10日(日) (L 永井)

【集 合】上牧役場前駐車場 5:30

【コース】東谷出合～(120)～小白髭岳～(100)～白髭岳～(55)～小白髭岳～(35)～P1046～(40)  
～P866～(40)～東谷出合

※歩行時間：約6時間30分

～岩稜帯のプチ縦走！！～

険しい岩場が続く登山道ですが、滝を見て紅葉も楽しみたいと思います

### 例会山行3 播磨の山 《七種槍 577.1m～七種山 683m》

【日 程】11月17日(日) (L 橋本)

【集 合】上牧役場前駐車場 6:30

【コース】青少年野外活動センター脇登山口～七草槍山頂～小滝林道との分岐～七種山山頂～  
七草の滝～作門寺山門前駐車場～青少年野外センター

※ 歩行時間：約5時間30分 歩行距離：約9km

# 西大和山の会 カレンダー

10 月			11 月		
1	火	県連理事会	1	金	
2	水		2	土	
3	木		3	日	公開山行・例会山行1《高取山～明日香村》(林)
4	金		4	月	
5	土		5	火	県連理事会
6	日		6	水	
7	月		7	木	
8	火		8	金	
9	水		9	土	
10	木		10	日	例会山行2《白髭岳》(永井)
11	金		11	月	
12	土		12	火	
13	日	例会山行1《府民の森 くろんど園地》(野路)	13	水	
14	月		14	木	
15	火		15	金	
16	水		16	土	
17	木		17	日	例会山行3《七種槍～七種山》(橋本)
18	金		18	月	
19	土	例会山行2・テント泊山行《蒜山高原》(杉森)	19	火	
20	日		20	水	西大和つうしん原稿締切
6	月		21	木	
22	火		22	金	
23	水	西大和つうしん原稿締切	23	土	
24	木		24	日	
25	金		25	月	
26	土		26	火	
27	日	例会山行3・県連交流山行《武田尾廃線ウォーク》(島崎)	27	水	11月度室内例会
28	月		28	木	
29	火		29	金	
30	水	10月度室内例会	30	土	
31	木				

## 山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	9/22	10/13 例会1	10/19・20 例会2	10/27 例会3	11/3 例会1	11/10 例会2	11/17 例会3	
		室内 例会	府民の森 くろんど園地	蒜山高原	武田尾廃 線ウォーク	高取山～ 明日香村	白髭岳	七種槍～ 七種山	
1	(窪田)								
2	都築								
3	藤井								
4	(石田)								
5	島崎				LO				
6	村田								
7	林					LO			
8	勝尾								
9	杉村								
10	橋本							LO	
11	亀高								
12	船江								
13	野路		LO						
14	中								
15	杉森			LO					
16	上田								
17	永井						LO		
18	川田								
19	岩田								
20	佐々木								
21	玉野								
22	今中								
合 計									
緊急連絡先									
HP 編集者									

L:リーダー、○:参加、◎:車  
 ※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。



# 山行報告

## 自主山行 北アルプス 薬師岳・雲ノ平・黒部五郎岳

【日 程】8月10日(土)～14日(水)

【参加者】L 杉森・SL 野路・杉村・亀高(4名)

### 8月10日(土) 晴れ 折立登山口から太郎平小屋へ

【J-タイム】折立登山口(10:25)～三角点(12:28/47)～太郎平小屋(15:20)〔泊〕

折立の駐車場は、臨時も含めてほぼ満車だった。しかし、登山口に近い場所に運よく一つだけスペースを見つけ、車を駐車できた。これからの山行にとって幸先の良いスタートだ。登山口から暫く歩くと、太郎坂と呼ばれる急登が続く。樹林帯の尾根上をつづら折りに登る。30分程登ると、時々涼しい風を感じた。三角点に着く。幾重にも連なる稜線の向こうに、薬師岳が姿を見せている。景色を眺めながら昼食・休憩。三角点から少し登ると草原に出る。振り返ると、眼下に有峰湖



が見える。やがて石畳の道になり、太郎平小屋まで2kmの五光岩ベンチを過ぎると、木道になり歩きやすくなった。広大な高原の風景をゆっくり楽しみながら、太郎平小屋に到着。入口の古びた看板は、50年前と同じで懐かしかった。関東からの登山客も多く、小屋の前のテーブルではすでに彼らの宴会が始まっていた。

(記：杉森英二)

### 8月11日(日) 晴れ 太郎平小屋から薬師岳(2,926m)往復、薬師沢小屋へ

【J-タイム】太郎平小屋(5:40)～薬師岳山荘(7:50)～薬師岳(9:04/27)～薬師岳山荘(10:05/15)～太郎平小屋(11:45/12:45 昼食)～薬師沢小屋(15:18)〔泊〕

太郎平小屋を出ると目の前に雄大な薬師岳が現れる。5時40分出発少し肌寒い。朝露でスリッパしそうな木道を進むと何日か前だと一面チングルマの白い花が見られたであろう穂があちこちに残っている。暫く進むと薬師峠テン場があり色とりどりのテントが張ってあり賑やかだった。このころには雲ひとつない夏空の様相で暑くなってきた。峠から所々出てくる岩や樹林帯を1時間ほど歩き薬師平の稜線に出る。ザレ場のつづら折りが山頂まで続き、ちょうど薬師平小屋の赤い屋根が急登の中に見





える。足が滑るザレ場で2時間も歩いたかな、ザックをデポして軽いのだがこの暑さは体力消耗が激しい。そして下から見ていた山頂らしき所には、壊れた避難小屋と愛知大学遭難のケルンがあり小さな広場となっていた。ここが山頂かな?と迷っていると、私達に若いツアーガイドさんが「ここは山頂ではありませんよ～あれが山頂です～」と言われた指先はピークを一つ越えたところ、人は見えるが炎天下で疲れた足は急ぐこともできずゆっくりザレ場を進む。「足を動かして居ればいつか着くわ」と居直りの境地。この気持ち今回の山行で何度頭をかすめたことか・・・



天気もよく澄みきった空気の中、山頂からは有名な薬師岳カール、稜線伝いに素晴らしい



鋭峰槍ヶ岳、穂高、笠など日本の秀峰群が一同に展望がかなう。勿論水晶、黒部五郎、鷲羽など360度凄い贅沢な絶景!である。山に登らないとこの感情はわからないでしょう。集合写真を撮り忘れたと言うのも、興奮していた4人の気持ちが読み取れるかも。

下りは上りと同じ道を薬師平小屋に立ち寄って太郎平小屋へ。薬師岳を仰ぎながら、こんなにいい山を何故もっと若いうちに来なかったのだろうと疲れた頭で考えていた。これも天気が良かったからの話かな・・・太郎平小屋で昼食を取り薬師沢へ向かう。実は山行計画書ではもう一泊太郎平小屋に泊る

はずだったが、小屋の方からこの計画書では明日の山行がきついので薬師沢まで行った方がいいですよ、というアドバイスを頂き3日目の行程を短くするためにも薬師沢小屋へ進む事とした。

薬師沢までの歩きは、登山とは違ってほとんど急登もなく、平坦な木道歩きを楽しみ、花の時期は少々遅い感があったがハクサンフウロウ、アキノキリンソウ、イワツメグサ、キヌガサソウ、タテヤマリンドウ、カラマツソウ、イワショウブ、ヨツバシオガマなどなど心を和ませてくれる。旬であればもっと鮮やかな色だったのにと残念至極。薬師沢第一、第二、第三徒渉も万が一大雨時は増水の為、橋の浸水、待機、遭難など心配する事も沢山あるが、今日は真っ青の空に恵まれ綺麗な沢にて休憩を交えゆっくりと歩く。沢では頭から水をかぶり、手袋をした腕は川にジャブン!と肩までぬらし・・・





何と言う爽快感か。暫くすると先客達は殆どいなくなり、私達も先を急ぐ。もうひと歩きすれば、眼下に黒部川本流と薬師沢出合にエメラルドグリーン沢が見えだす。と小屋は直ぐであった。  
(記：杉村好子)

## 8月12日(月) 晴れ 薬師沢小屋から雲ノ平を経て黒部五郎小舎へ

【J-タイム】薬師沢小屋(4:04)～一つ目の木道(6:23)～アラスカ庭園(7:08)～奥日本庭園(7:46)～雲ノ平山荘(8:10/35 朝食)～スイス庭園(9:10)～祖父庭園(10:00)～黒部源流徒渉点(11:25/40)～三俣山荘(12:30/13:18 昼食)～三俣蓮華岳合流地点(14:50)～黒部五郎小舎(16:05)〔泊〕

3日目、コースが一番長い日。夜が明けきらない時からヘッドランプを付けての歩行。小屋の目の前の橋を渡ると、小さい滝から水しぶきが飛び散る中を、滑らないよう慎重に歩き出す。滝を渡るとすぐに急登が始まり・・・半端でない激登り。前日小屋で出会った単独行の若い女性は、私達の逆コースを来られたとのこと。その女性は「滑る岩場あり、激下りで捕まるところがない所もあり、とにかくこの登りだけは登りたくない!!」と思われていた。納得!! そんな激登りも2時間半ぐらいで終わると一つ目の木道が現れる。やれやれ・・・



やっと雲ノ平の入り口です。

暫く進むと雄大で穏やかな雲ノ平の景色になり和やかな気持ちになった。最初にシラビソ林が立ち並ぶアラスカ庭園、奥日本庭園、ギリシャ庭園の中にある雲ノ平山荘・・・絵本の中に出てくるような可愛い山小屋で2～3日泊まりたい・・・と思う小屋でした。水晶岳を背景に見るスイス庭園、沢山の花が咲いているお花畑・・・薬師岳、水晶岳、黒部五郎岳を見ながら歩く雲ノ平・・・ここは正に天上の楽園、



雲上の楽園の言葉がピッタリ・・・ゆったりと時が流れるような優しい景色がとても癒してくれる。

雲ノ平を過ぎて、黒部源流への急降下、激下りが始まる。源流の徒渉を過ぎると、三俣山荘へと登り返す。三俣山荘で昼食をとり、チョット贅沢な「珈琲タイム&ケーキ・・・」何とも言えない・・・アルプスを眺めながらの至福のひと時を過ごした。三俣山荘を後にして、三俣蓮華岳トラバースを



進み、暫くすると雪渓が現れ「ライチョウ」もお目見え・・・。トラバースと三俣蓮華岳の合流地点少し前で、またも目の前にライチョウの親子が・・・今日2回目。でもこの後の黒部五郎小舎への長い道のりは想像以上であった。

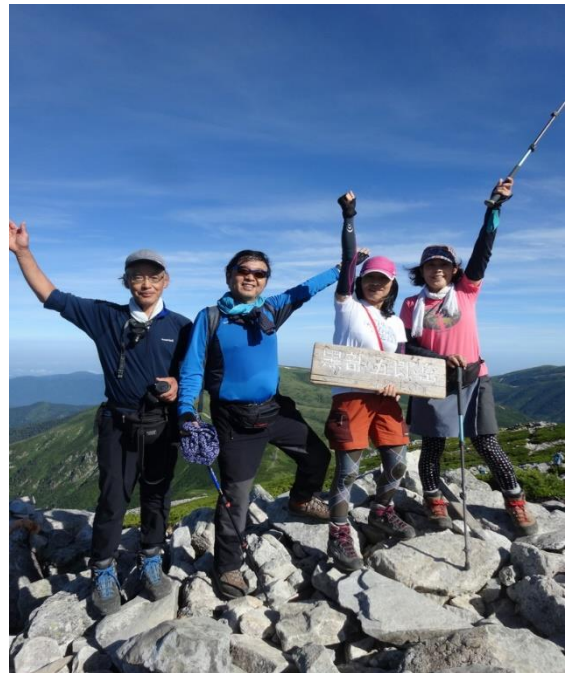
(記：野路政子)



**8月13日(火) 晴れ 黒部五郎小舎から黒部五郎岳(2,839.7m)を経て太郎平小屋へ**  
【コースタイム】黒部五郎小舎(4:54)～黒部五郎カールの沢(6:35/50 朝食)～黒部五郎ノ肩(7:42)～  
黒部五郎岳(8:00/16)～中俣乗越(10:37)～赤木岳(12:00)～北ノ俣岳(12:44/54)～  
太郎平小屋(14:45)〔泊〕

黒部五郎小舎を5時前に出発。夜が明け、晴れ渡った黒部五郎カールを黒部五郎岳目指して登る。岩が点在する草原のカールは見事なU字カーブを描いており、最初は緩やかに、登るに連れ急になる傾斜を徐々に高度を上げて行く。カール内の沢は最良の休憩ポイントで、黒部五郎を目指す多くの登山者が休憩しており、我々もここで朝食を摂る。緩かった傾斜がいよいよきつくなり、つづら折りの急登を喘ぎながら登って稜線に到達する。稜線からの眺望は、手前に見事な黒部五郎カール、その向こうに雲ノ平の高原、さらにその奥は右から三俣蓮華岳・鷲羽岳・水晶岳へと続く稜線、さらに最奥には槍・大喰・中岳・南岳から大キレットを経て北穂、奥穂へと続く槍穂連山が頂を覗かせており、美しい。

稜線に沿って尾根を登っていくと黒部五郎の肩



に到着。肩にリュックをデポし、山頂へは空身で登る。黒部五郎の山頂(2,839.6m)からの眺めはさらに最高。昨年、燕～常念の縦走路から眺めたのとは逆方向からの槍・穂高連峰に感動。山頂から北方向を展望すると、北ノ俣岳方面の縦走路に行く人々が見える。しばし展望を楽しみ写真をたくさん撮った後、黒部五郎の肩まで戻る。ザレたつづら折りを繰り返しての急降下が続く、足の爪を痛めた。徐々に緩斜面となり中俣乗越からは再び登りに転じる。ちょうど正午に赤木岳頂上(2,622m)の東側を通過し、

喘ぎながらも北ノ俣岳(2,662m)に到達した。

太郎平まであと少し。少しガスが出てきた。山行初日以来ずっと好天に恵まれ、直射日光を浴びながらの山行だったので、むしろガスが心地よい。このルートは途中で立寄る山小屋はなく、カールを過ぎたら水場もなく、暑さで飲料水が心もとなくなってきたところで遠くに太郎平小屋が見えてきた。歩きにくいザレた登山道が木道に変わり、歩きやすくなった。太郎平小屋までもう少しという地点で、2羽のライチョウが出現。今回の登山で3度目の遭遇だ。北ノ俣岳から思った以上に遠く感じた疲れた身体をライチョウが癒してくれた。







黒部五郎小屋では、3日前はすし詰め屋根裏部屋だったが、台風が近づき登山客も減ったのか、今日はひとり1枚の布団で寝られる部屋の割り当てを受けた。薬師沢への激下りと雲ノ平への急登を経て、極楽浄土の雲ノ平、大きな石がゴロゴロでザレた黒部五郎岳の周回コースを踏破した達成感に包まれ、ビールで乾杯。明日は折立まで下山するのみだ。

(記：亀高茂)

## 8月14日(水) 晴れ 太郎平小屋から折立登山口へ

【コース】 太郎平小屋(6:06)～五光岩ベンチ(6:45)～三角点(8:13)～折立登山口(9:45)⇒(車) 白樺ハイツ(日帰り温泉)⇒佐味田川

今日は下山して帰宅するだけ。食堂で朝食を摂って外にでると本日も快晴。下山するのが名残惜しい。連日のロングトレイルで痛めた足指をかばいつつ、朝日を背に浴びながら木道をゆっくりと下山する。やがて木道が切れてザレた下山道となるが、東側には薬師岳が聳え、西側には朝日を浴びてピンク色に染まった雲海が広がっている。登山時とは違った景色を楽しみながら、徐々に高度を下げて行く。やがて東側に立山連峰が見え、近くの山陰から剣岳の頂が顔を覗かせる。西側は雲海が晴れ、有峰湖が綺麗だ。



三角点まで降りて休憩していると、背負子に発泡スチロールの保冷箱を括り付けて背負って下山中の若者三人組に追いつかれた。聞けば、生鮮食品を太郎平小屋まで毎日荷揚げするアルバイトだという。一人は高校生だとか。実に爽やかな風を残して去って行った。

三角点から登山口までは、我々の疲れた足取りでゆっくり降りて約1時間半。ついに折立に戻って来た。無事の下山を祝って登山口の自販機で買った炭酸飲料で乾杯。折立登山口からほど近い亀谷温泉・白樺ハイツでの5日ぶりの入浴は実に気持ちよく、お刺身定食は跳びつきり旨かった。

(記：亀高茂)

## ・反省点等

[評価]

「計画」：計画書を頂いた時からハードな計画で歩けるか心配であった。4日目に薬師岳に登り(3時間40分)、下りは一気に折立までの下り(5時間50分)、そして下で宿泊。

「変更」：4日目になると疲労もピークに達し、薬師岳の登りは堪えると思い、2日目の元気な時に薬師岳に登り、宿泊を太郎平小屋に変更して、楽な計画に修正して頂いた。



[反省点]

「計画」：薬師岳の日程を変更して頂いた後も、3日目(9時間)、4日目(10時間15分)のハードな歩行であったので歩けるか心配です・・・と言った言葉は発信していた。

「反省」：・心配しながら地図も確認していたが、ではどうするか??・・・と言った具体策まで講じなかった。

- ・薬師岳の日程を変更して頂いたので、リーダーに遠慮があり具体案を考えなかった。
- ・サブリーダーとして、メンバーとして、また山行管理者としての責任を果たせなかつた。
- ・今後は、リーダーの時は勿論、Sリーダーとして、メンバーとして、山行管理者として責務を果たして行かなければと反省しました。

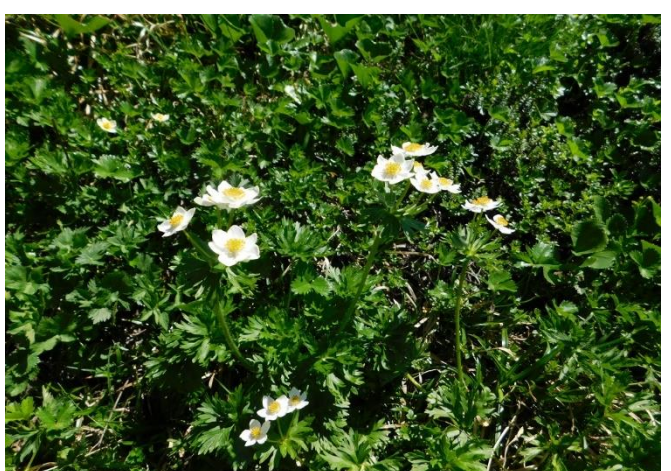
[追記] コースタイムはあくまでも参考タイムであり、その通りに歩く事は難しい。まして私たちのように年齢を重ねた者には、プラス $\alpha$ が必要である。9時間なら休憩を含むと12時間にもなる。また3日目、4日目と日を追う事に疲れもたまって来るので、思うようには歩けず計画は余裕を持って立てることが大切であり、今後に活かしたいと思う。

(記：野路政子)

前述の通り、問題のある山行計画であった。今後、計画段階で歩行時間が8~9時間もかかる時は、別案を必ず検討しておく必要がある。また、3日以上の子山行においては、装備がかなり重くなるので、出来るだけ余分な物を持たないようにすべきである。

今回、長丁場の山行を無事終えることができたのは、何よりもメンバーの皆さんの強い結束のお陰であると確信している。

(記：杉森英二)





## 例会山行1

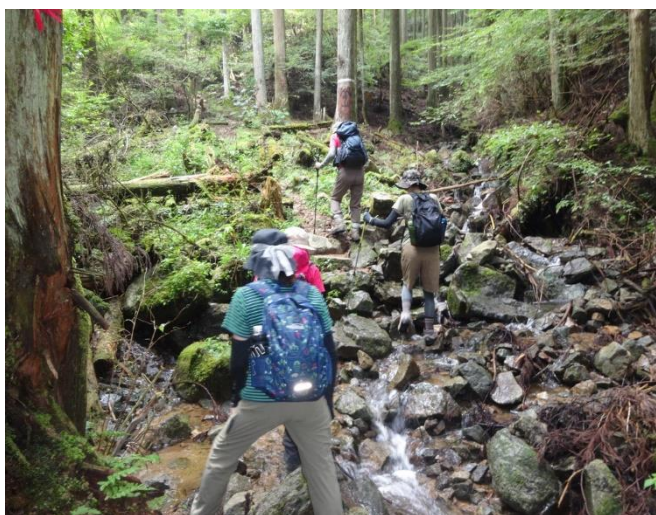
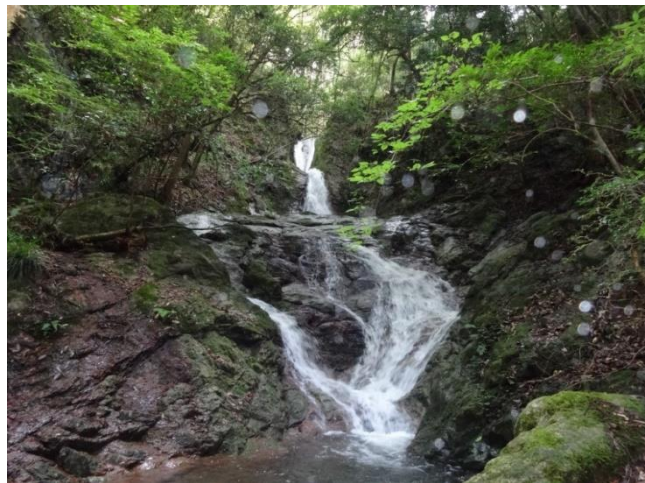
# 竜門山地 竜門岳 904m

【日 程】8月25日(日) 晴れ

【参加者】L 勝尾・SL 杉村・亀高・中・岩田・佐々木・今中(一般参加)(7名)

【コースタイム】簡易水道施設駐車場(8:15/30)～竜門滝(8:45)～林道終点(8:15)～竜門岳(11:00)～鉄塔広場(11:20/12:00)～竜門山(12:15)～駐車場(13:50)

連日の猛暑が和らぎ涼しい風が吹く当日となりました。吉野運動公園には駐車場ありますが道は細いですが車の入れるギリギリまで上るとバイオトイレまで登れます。トイレはとて綺麗で清掃も行き届き全く臭いもなくさすがでした。支度を整え出発。林道の道は気温が低く涼しくなかなか快適でした。林道終点の少し先まで沢沿いを歩く。気持ちのいい歩きです途中のなかなかいい感じの龍門の滝有。林道終点の少し先の堰堤に到着。ここからが地獄。水平移動800m程で350m程の超急登。九十九折ってるけどほぼ直登です。



息つくところもありません。何度も何度も立ち止まります。40分くらいかな?平な道になった。少し行くと分岐。右に曲がると頂上だ。しかし眺望無なので鉄塔広場まで行くと音羽三山の音羽山と経ヶ塚岳は重なって見えませんが熊ヶ岳が眺められる所で昼食を摂り来た道をかえりました。下りは前日の雨で土は湿り気味、苔のついた石が多くすべり気味の下山道でした。

竜門岳は、三百名山の一つであり山頂からは西方に開けており、葛城山・金剛山などが一望できるとありましたが、山頂周辺の木々が高く望むことができませんでした。

(記：中昌子)





【日 程】9月1日(日)～4日(水)

白馬岳(2,932.3m)・杓子岳(2,812m)・白馬鑓ヶ岳(2,903.1m)

【参加者】L 杉村・SL 野路・島崎・中(4名)

9月2日(月) 曇り後雨 猿倉荘から白馬山荘へ

【コ-スタム】白馬ホテル(5:50)～猿倉(6:30)～白馬尻小屋(7:35/50)～岩室(10:20)～白馬山荘(13:00)〔泊〕

ホテルから40分程で猿倉に着き、駐車場に車を停めて出発。曇りで稜線あたりを見上げてガスで見えない中を歩き始める。暑さもなく主に林道を歩く。1時間少しで白馬尻小屋に着くと、看板には雪渓の情報が表示されている。雪渓には入ることはできない。落石が多いことなどの情報を得る、残念！大小の石だらけの山道を少し上ると、大雪渓に出るがピンクのテープをたどりつつ登る。雪渓を横目に急登気味の山道を上る。見ると雪渓は下が大きくえぐれ、雪上は黒くなっており所々に土砂が積もっていた。雪上に赤い塗料の



印があるのが恨めしい。たまに雪渓上を歩いているパーティーを見かける。急登で結構汗もかき、歩きにくい初日の上りは体につらく、全員が無口になる。雪上をアイゼンで歩く方が、少しは楽で涼しくて良いだろうなああと恨めしくなる。でも山道には、まだ夏の花がたくさん残っていて、ミヤマキンポウゲ・トリカブトの群落の中に、クルマユリが色を添えていた。見事に咲いたウルップソウや、草陰に小さいミヤマサクラソウを見つけて、花に慰められました。

2回ほど雪渓を横切り、雪の上に土砂が積もった道を上ると雪渓が終わる。少し急登が続き、2時間半で岩室に着いたあたりから、高度が上がったせいか、少

し涼しさを乗り越えて寒くなってきた。岩室を超えたところからガスが濃くなる。苦しい登りを超えて、少し傾斜が緩やかな登りになり、頂上宿舎を過ぎたところで雨が降ってきた。稜線に出ても展望もなく、黙々と歩く。雨脚は少し強くなり、濡れながら白馬山荘に着く。受付では、労山カードが使えて割引をしてもらえました。小屋は設備が整っていて、広い更衣室と乾燥室があります。水道の水は飲めますし、食事以外のお湯とお茶は500ml100円で安い！天候はどんどん悪くなり、白馬岳頂上アタックは、明日の朝する事になった。(記：中昌子)





**9月3日(火) 小雨後曇り後小雨 白馬岳(2,932.3m)から白馬槍温泉(2,100m)へ**

【ｺｰｽﾀｲﾑ】白馬山荘(6:55)～白馬頂上(7:15)～白馬山荘(7:30/8:00)～杓子岳(9:45)～  
白馬槍ヶ岳(11:00)～槍温泉分岐(11:25)～白馬槍温泉小屋(13:50)〔泊〕

2日目まだ小雨降る中を、白馬岳山頂を目指して歩き出す。15分ほどで山頂に到着。全く展望なし・・・残念。小屋に戻り休憩した後、歩き出すころには雨は止んでいたが、物凄い風とガスであった。

白馬岳からはかなりの下りで、こんなに下るの?と言うほどの下りであった。

鞍部から杓子岳への登りは「ガレ場の落石が多い急登」でしんどい登りであった。山頂からは展望はなかったが、東面は断崖絶壁の怖さが、ガスが出ていても目視出来るほどであった。ガレ場を下ってトラバース道と合流した後も長い下りが続き、槍ヶ岳への登り返しに思いをはせた。やはり鞍部からの登りはきつかった!!



槍ヶ岳も展望なし・・・相変わらず風は強く、時には足を進めるとき、体が風にあおられバランスを崩すほどの強風である。槍ヶ岳から槍温泉への分岐までは30分足らずの道のり。分岐からは主稜線を離れてジグザグの急斜面を下る。お天気良ければこの辺り、大出原の満開の花畑と、白い山容の槍ヶ岳が見えるはず・・・残念!! 稜線から外れたので風は弱くなってきたが、また小雨が降り始める。槍温泉の30分～40分手前にはハシゴや鎖場が続く岩場がある。雨としみ出した水で濡れてお

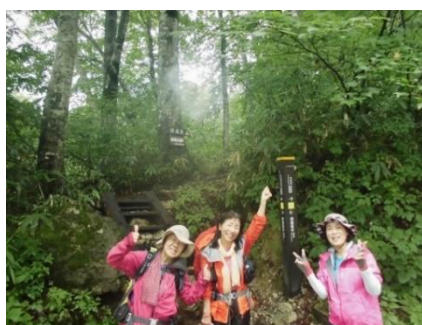
り、滑りやすい箇所が連続で続く。「滑落事故あり、死亡事故もあり・・・」の注意書きも出ていた。

秘湯白馬槍温泉は標高2,100mにあり、日本では2番目に高い所にある温泉。露天風呂は混浴で「水着OK」であった。3時過ぎには雨も上がり、青空も見え始めた。露天風呂からは「戸隠高原」の山並みが望めた。  
(記：野路政子)



**9月4日(水) 小雨後曇り 白馬槍温泉から猿倉山荘(1,250m)へ**

【ｺｰｽﾀｲﾑ】白馬槍温泉小屋(6:40)～猿倉林道合流地点(10:20)～猿倉山荘(10:30)





雨も小雨に変わり、猿倉山荘を目指して下山開始。大小の岩道で、滑り易く歩きにくい下りである。やがてトラバース道に変わり、猿倉まではやさしい緩やかな下り道が 2/3 ほど続く。小雨も暫くすると曇りになり、猿倉では日差しも見え始めた。

今回はお天気には恵まれず、展望も望めなかったが、ミヤマキンポウゲなど色々な高山植物を愛でながらの山行であった。また前回唐松岳まで歩いた時は、杓子岳、槍ヶ岳はトラバース道を歩いたが、今回は白馬三山のピークを踏むことができ満足しています。

(記：野路政子)

## 例会山行1

## 湖南の山 三上山 432m

【日 程】9月8日(日) 晴れ

【参加者】L永井・藤井・亀高・橋本・岩田・佐々木・玉野(7名)

【コース】野洲駅(10:10)～御上神社(10:47)～表登山口(10:54)～妙見堂跡(11:18)～三上山(12:00/30 昼食)～田中山分岐(13:53)～妙光寺山分岐(14:22)～妙光寺山磨崖仏(14:30)～妙光寺山登山口(14:42)～野洲駅(15:17)

台風が免れたとはいえ、少々天候を心配していたが当日は秋晴れでひと安心。野洲駅より三上山に向かう。いつも高速道路から見ていた近江富士が徐々に近づく。50分程歩くと登山口に到着、門を開けて入る。体験山行の対象と聞いて大したことは無いだろうと甘い考えでいたが、結構斜面は急で岩場も多く、まるでアスレチックのようによじ登らないと進めない所もあり、山頂までの時間はさほどかかってないが、かなり疲れた。自分の体力の無さを痛感することになった。



山頂での景色は天気が良いせいか遠くまで見渡せた。そこで昼食を摂る。20分程休憩後、妙光寺山への道を進む。途中、猛暑で日陰も無い尾根を進んで行く。皆、暑さと白っぽい地面からの照り返しで汗びっしょり、何度も給水しながら田中山分岐までたどり着く。後一歩となった時、リーダーが下山しようと言ってくれた。私のバテ具合を見ての



判断だったと思う。皆に申し訳なかった。途中、山磨崖仏には寄る事が出来たが一気に下山した。その後野洲駅へと帰路に着いた。本当に暑い一日だった。(記：佐々木喜代美)



## 室内例会だより

【日 時】2019年8月28日(水) 19:30~20:40 事務所

【出席者】藤井、林、村田、勝尾、橋本、船江、中、杉森、上田、永井、岩田、佐々木、  
玉野、今中、島崎(記録)

### 1. 山行計画

- 9月1日(日) 例会山行2 大峰山系《行者還岳》1,546m ……………L 林
- 9月8日(日) 例会山行1 湖南の山《三上山》432m……………L 永井
- 9月15日(日) 例会山行3 台高山脈《池木屋山》1,396m……………L 船江

### 2. 山行報告

- 7月21日(日) 自主山行《御池岳 1,247m》L 島崎……………6名
- 7月31日(木)~8月3日(土) 自主山行《北アルプス(劔岳) 2,999m。立山連峰》  
L 島崎……………7名

### ★本会より

- 9月22日(日) 次回例会時、運営委員会開催 13:00~  
※9月22日(日)/15:00~室内例会、17:00~暑気払い
- 今中和美様が入会されました。  
8月25日竜門岳に参加頂きました。
- 9月28日(土)テント泊の為の食の工夫講習会  
集合：近鉄学園前 9:10 場所：矢田山自然公園遊びの森交流館  
参加費 300円 申込先は藤井さんまで
- 10月10日(木) テント泊についての実技・・・道の駅(二上山) 9:00 集合：L 中
- 10月27日(日) 県連交流山行武田尾廃線ウォーク：西大和山の会主催ですので、出来るだけの参加を希望致します、次回例会時募集予定
- 会費、遭対基金は9月22日(日) 集金

以上

## 教育部より

### 教育部学習会《ツェルト・テントの扱い方》

【日 程】10月10日(木)

【集 合】山口神社駐車場 8:00 (道の駅当麻 7:50)

【内 容】・ピバークについて、ツェルトの扱い方

・テントについて、テントの扱い方

※ 山口神社駐車場(傘堂付近)が分からない方は、道の駅当麻に来てください。

(記：中昌子)

# 西大和つうしん

第 448 号 (2019 年 10 月号)

2019 年 9 月 22 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>